

| 2024年度 通信教育実施計画書 | | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------|---|--|----------------|------------------------------|--|------|---------------------------------|
| 相生学院高等学校 | | | | | | | | |
| 教科 | 科目 | 単位数 | 教科書番号 | 出版社 | 教科書名 | | | |
| 地理歴史 | 地理探究b | 2 | 地探701 | 東京書籍 | 地理探究 | | | |
| 目標 【学習指導要領】 | | 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 | | | | | | |
| 目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】 | | ・各テーマにおける沿革とそれにつながる諸問題について資料を具体的に捉え、問題の解決に向けての方法を模索させる。 ・世界の各地域に関して地誌的に理解、考察し各地域で抱える諸問題について考察させる。 | | | | | | |
| 評価の観点 | | 【知識・技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したことを表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度がみられたか。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようという意欲がみられたか。 | | | | | | |
| 学期 | 実施時期 | 内容 | 到達目標 | 添削指導 (レポート) | 面接指導(単位時間) | | 評価方法 | |
| | | | 回 | 時期 | 内容 | 時間 | | |
| 前期 (後期) | 4月 (10月) | 第4章 人口、村落・都市 第1節 人口 第2節 人口問題 第3節 村落・都市 第4節 居住・都市問題 | 世界の人口分布と人口ピラミッドの累計について学習し、先進国、発展途上国それぞれの人口問題や都市の諸課題について認識を深めさせる。 | 第7回 | 5月 (11月) | メディア学習により免除 | 0 | レポート 視聴報告書 |
| | 5月 (11月) | 第5章 生活文化、民族・宗教 第1節 生活文化の地域性 第2節 民族・言語・宗教 第3節 民族問題 第4節 現代の国家と領土問題 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第1節 地域区分の意義と方法 | 文化についての定義の理解をふまえ、世界の衣食住について文化的に理解する。民族について言語や国家の関係を理解し、世界の宗教の分布や形成過程を学び世界の文化的多様性について理解させる。また民族問題についてその背景と国家や宗教の関わりを考え、紛争や難民問題の解決に向けた取り組みと課題について考察させる。 | 第8回 | | | | |
| | 5月 (11月) | 第2章 現代世界の諸地域 第1節 東アジア―項目ごとに整理して考察する― 第2節 東南アジア―項目ごとに整理して考察する― 第3節 南アジア―経済成長に着目する― | 東アジア、東南アジア、南アジアについてそれぞれの地誌的考察を行い、各地域の文化や産業の特徴と諸課題などを理解、考察させる。 | 第9回 | | | | |
| | 6月 (11月) | 第4節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する― 第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する― 第6節 ヨーロッパ―地域統合に着目する― | 西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカでそれぞれの地域を比較し共通点や、相違点に着目して各地域と他地域の結びつきについて理解させる。 ヨーロッパ統合についての背景と多様な農業、産業の変容について認識を深め、EUの東方拡大と英国のEU離脱問題から見えるEUの諸課題を理解させる。 | 第10回 | スクーリング 6月～7月 (10月～12月) | ロシア、アン グロアメリカ、 ラテンアメリカ、 オセアニア地域の 地誌的考察、日本の 地理的諸課題について (講義) | 1 | レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント |
| | 6月 (12月) | 第7節 ロシア―項目ごとに整理して考察する― 第8節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する― 第9節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する― 第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する― | ロシアについて地誌的考察を行い、多様な民族や宗教、国内の諸問題について触れ、市場経済への転換から産業構造について認識を深める。 アングロアメリカについて地誌的考察を行い、特徴を理解しながら諸課題について理解させる。 ラテンアメリカについて地誌的考察を行い、特徴を理解しながら諸課題について考察する。 オセアニア地域について地誌的考察を行い、特徴を理解しながら諸課題について考察する。 | 第11回 | | | | |
| | 7月 (12月) | 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く 第2節 持続可能な国土像の探究 | 日本の地理的諸課題について認識を深め、国土政策の歴史と今後の在り方について模索する。また日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な方策について探究させる。 | 第12回 | | | | |
| | 9月 | 単位認定試験 | | | | | | 考查 |
| 面接指導(単位時間) 合計 | | | | | 1 | | | |